

avancer 『アヴァンセ』

平成31年度・令和元年第4号

令和元年8月吉日 副理事・所長 海老澤政昭

夏休みに突入しました。梅雨明けがかなり遅くなりましたが、日差しが出ると、昨夏同様、酷暑のようです。涼しげにプールに入る子どもたちの声が響きます。屋内及びプールの中でも熱中症を気にしなければなりません。安全な生活を心がけています。

地域の夏祭りが2年続けて中止になりました。安倍川の花火大会も中止です。主催者側としては、昨年度の中止から今まで準備を継続してきたの苦渋の判断です。やりきれない気持ちで、とても切ないですが、来年に期待です。

カブトムシが水分不足のため、サナギのまま死んでいるのが見つかりました。管理の失敗を反省しつつ、再度、床を掘り返してみると、かなりの下の方に、潜って生きていました。今年も、カブトムシの観察が行えます。また、産直等にて販売を開始しました。このカブトムシのエサは、生活介護で行っている原木椎茸栽培の廃槽を活用しています。一昨年は、椎茸の槽場で管理していましたが、かなり、逃げられてしまったため、今は、事業所にて管理しています。そのため、適度な水分が必要になるわけです。生活介護の就労として成立させるための準備として今年で4年目になり、ようやく販売までこぎつけました。来年は給与として還元できるようにしたいと思っています。

さて、いよいよ、ごうでいんぐ岩世ヶ原の工事着工が近づいてきました。生活介護の仲間たちは、今の環境が変化することが急激にならないように、少しずつ、集団の再編成やスペースの移動等を通して、場所が変わることを意識するように試みています。月に一回のサロン（保護者の交流）でも、工事の進み具合を見ながら、意識していけるといい、との意見もありました。

前期が終了し、個別支援計画のまとめ及び後期取り組み案の説明のための個別面談の際に、来年度事業再編等についての話を加えていきたいと思っています。



《事業所説明会に参加しました》

今年もフィランセで開催された「手をつなぐ育成会主催の事業所説明会」に参加しました。来年度『多機能型事業所ごうでいんぐ岩世ヶ原』が開所するにあたり、多くの来場者の問い合わせがありました。今後も丁寧な関わりを心がけていきたいと思っています。また、今回も仲間たちが作ったじゃがいもを寄付しました。



この度、生活の仲間たちが作成した陶芸を多くのご家庭で購入して頂き誠にありがとうございました。購入金額の半分を工賃としてお渡しします。お楽しみにしてください。

【編集後記】

昨年は梅雨明けも早く、七月の初旬から夏の日差しがあふれていましたが、今年は梅雨が長引き梅雨明け後もなかなか夏空が顔を出してくれないですね。でも、蒸し暑さが朝から続いています。このような天候は熱中症のリスクも高まり、日々の暮らしでも十分配慮をしていただき、熱中症予防に心がけていきたいですね。

デイ利用の皆さんは、長期休業に伴って様々な行事が企画され、様々な体験をしながら生活を楽しんで過ごされる機会ですね。生活の仲間たちは、厳しい暑さの中で日々の作業を行いながらも、この季節だけ体験できる活動を楽しんで過ごしていきます。